

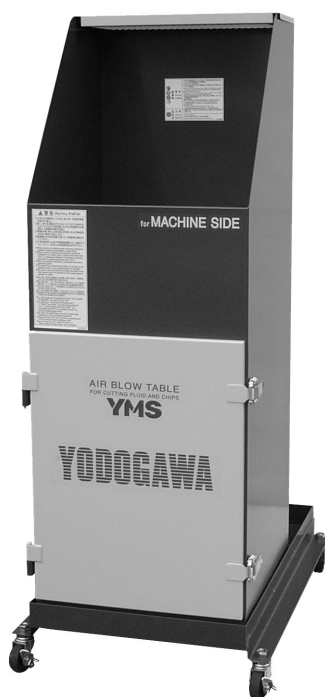
# 淀川エアブロー作業専用 集塵作業台

工作機械サイド専用

YMS-20J型

YMS-40J型

取扱説明書



淀川電機製作所



No. T17152



# 目次

1.はじめに	3
2.安全に関する記号、用語の説明	3
3.安全にお使いいただくために	5
4.安全上のご注意	6
○ Safety Precautions	10
○ 安全注意事項	14
○ ข้อควรระวังเพื่อความปลอดภัย	15
5.安全に関する詳細説明	17
6.製品の概要	20
6.1 現品の確認	20
6.2 製品の特徴	20
6.3 用途	20
6.4 製品の仕様	21
7.外形寸法図	22
8.構成部品および機能	23
8.1 各部名称	23
9.設置	27
9.1 設置場所	27
9.2 設置方法	28
9.2.1 キャスターの取り付け	28
9.3 電源の配線	30
9.4 使用前の点検	32
10.運転	33
10.1 設置時の環境を厳守の上、運転してください	33
10.2 スイッチについて	33
10.3 運転の条件	34
10.4 含塵液体の条件	34
10.5 エアブロー作業について	36
10.6 異常を発見した時	36
10.7 サーマルプロテクターが動作した時	36
11.保守・点検	37
11.1 日常の手入れ	37
11.1.1 フィルターの清掃	37
11.1.2 粉塵の処理	37
11.1.3 捕集液体について	38
11.1.4 ファン風胴部の排液について	38
11.1.5 エアブロー作業台の清掃について	38

11.2 フィルターの交換	39
11.2.1 成形カセットフィルター	39
11.2.2 後部フィルター及び後部フィルター取付ネット	39
11.3 外装部のお手入れ	40
11.4 定期的な点検	40
12.保管	41
13.異常時の処置	42
14.撤去及び廃棄	43
15.交換部品	44
16.保証規定について	45

**- ご注意 -**

- (1)取扱説明書の内容の一部または全部を無断で転載・複写することは禁止されています。
- (2)取扱説明書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
- (3)取扱説明書の内容につきましてご質問がおありの場合は、お買い上げの販売店または、弊社営業所までご遠慮なくお問い合わせください。

# 1. はじめに

この度は、淀川のエアブロー作業専用集塵作業台(YMS-J型)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、エアブロー作業専用集塵作業台を安全にお使いいただくために作成したものです。

この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解された上で実際にご使用くださいますようお願い致します。

尚、安全に関しては同じ内容の事項を何度も重複して表現しておりますことをお含みおきください。また、常にこの取扱説明書をお手元に置かれることをお奨め致します。



エアブロー作業専用集塵作業台の設計内容に関する研究の結果、この取扱説明書の内容の中に、お買い上げの製品と詳細において異なる場合があります。


お買い上げの製品または、この取扱説明書の内容につきましてご質問がおありの場合は、お買い上げの販売店または、取扱説明書の裏表紙に記載しています弊社営業所までご遠慮なくお問い合わせください。






取扱説明書が損傷・汚損した場合または、製品に取り付けている銘板、警告ラベル等がかすれたり破損したりした場合は、取扱説明書の裏表紙に記載しています弊社営業所までご連絡ください。

# 2. 安全に関する記号、用語の説明

この取扱説明書には、以下のような安全に関する記号を使用しております。

 <b>警告</b>	お守りいただかないと人身の危険につながるおそれのある注意事項
 <b>注意</b>	お守りいただかないと製品、設備などの損傷につながるおそれのある注意事項

なお、「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

	<b>重要情報</b>	製品に関するお守りいただきたい重要な情報を示します。
	<b>禁止事項</b>	警告、注意に関する対応としての禁止事項を示します。 この記号の内容は絶対にしないでください。
	<b>強制事項</b>	行為を強制する強制事項を示します。
	<b>警告事項 注意事項</b>	「警告や注意」を促す事項を示します。
	<b>一般注意</b>	参考情報を提供しています。


絵表示の意味は次のとおりです。


	<b>火気の吸引禁止</b> Sucking up sparks or flames is prohibited		<b>引火性液体の吸引禁止</b> Sucking up flammable liquid is prohibited
	<b>爆発性物質の吸引禁止</b> Sucking up explosive substances is prohibited		<b>可燃性、引火性物質の吸引禁止</b> Sucking up flammable or combustible substances is prohibited
	<b>火花の出る作業の禁止</b> Work that generates sparks is prohibited.		<b>腐蝕性物質、粘着性物質、非常性のものが多く含まれる気体等の吸引禁止</b> Sucking up corrosive substances, adhesive substances, or any gas that contains a lot of extraordinary substances is prohibited
	<b>分解禁止</b> Disassembly Prohibited		<b>作業台に乗ったり重量物を載せたりすることを禁止</b> To keep the unit from falling over, do not climb on the working surface or place heavy objects on it.
	<b>危険電圧部有り 感電注意</b> Be careful of electric shock		<b>元電源を切って作業すること</b> Work after intercepting the main power supply
	<b>回転体注意</b> Be careful of rotating parts		<b>接触注意</b> Be careful of contact
	<b>高温注意</b> Be careful of high temperature		<b>サーマルプロテクター(過負荷保護装置)が内蔵されています(単相 100V、単相 200V、三相 200V 標準仕様のみ)</b> It has a built-in thermal protector (Only single-phase 100V, single-phase 200V and three-phase 200V for the standard types in Japan)
	<b>取扱説明書をよくお読みください</b> Carefully read the instruction manual		<b>身体のかなる部分も製品の下に入れないこと</b> Be careful that no part of the body will be caught underneath the product.
	<b>粉塵が勢いよく飛散する作業の場合は、保護メガネの着用をお願いします。</b> If the dust shatters greatly during working, please wear protective glasses.		

### 3. 安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みください。

お読みになった後はいつでも使用できるように大切に保管してください。

 警告	
<b>⊘ 禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 工作機械サイドでの被加工物の切削粉や切削油のエアブロー作業以外の目的に使用しないこと。</li> <li>○ 常温・常圧の一般空気以外の気体を取り扱わないこと。</li> <li>○ 切削油が爆発性、可燃性、引火性(引火点 120℃以下の場合)、洗浄液は爆発性、可燃性、引火性(引火点 135℃以下の場合)のものは使用できません。</li> <li>○ 発火性、腐食性、粘着性、非常性等のものは使用できません。</li> <li>○ 火気および爆発性の粉塵・含塵液体液霧は絶対に吸引しないこと。</li> <li>○ 本体に著しい振動や衝撃が加わる場所で使用しないこと。</li> <li>○ 水平でなかったり、凹凸があったり等、不安定な場所には設置しないこと。</li> <li>○ 本機を水に浸したり、水をかけたりしないこと。</li> <li>○ 構成部品の取り外しや改造、無理な分解・組立てはおこなわないこと。</li> <li>○ 配線工事は必ず電気工事士などの有資格者がおこない、無資格者が配線工事をおこなわないこと。</li> <li>○ 三相タイプの場合、電源接続時に必ず本機背面側の風胴ケーシングとモータ間の格子穴から見える羽根車の回転方向が矢印の方向と同じであることを確認し、逆回転では決して使用しないこと。</li> <li>○ インバーターによる増速・減速運転はしないこと。</li> <li>○ 元電源を切らずに保守・点検等の作業をおこなわないこと。</li> </ul>

 注意	
<b>● 必ず守る</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 設置場所の周囲状況を考慮してください。</li> <li>○ 構成部品の取り付けは確実にこなってください。</li> <li>○ 取扱説明書は簡単に参照できるように、製品のそばに保管してください。</li> </ul>
<b>⊘ 禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 取扱説明書を理解できるまでは、製品の設置、使用、保守をしないでください。</li> </ul>
<b>● 必ず守る</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本取扱説明書は日本国内標準仕様で作成しておりますが、特注品仕様(異電圧を含む)においても本取扱説明書の内容をお守りいただくとともに、別途取り交わした使用条件等をお守りください。</li> </ul>
<b>△ 注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本機は、安全に対する責任者によって本機の使用に関する指揮管理又は指示が与えられない限り、経験及び知識が不足した人(子供を含む)による使用は意図しておりません。</li> </ul>












## 4. 安全上のご注意

エアブロー作業専用集塵作業台を安全にご使用頂くには、正しい操作と定期的な保守が不可欠です。この取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分に理解されるまでは運転をおこなわないでください。

保守・点検作業は安全に関する注意事項を十分理解のうえおこなってください。



エアブロー作業専用集塵作業台の知識、安全の情報、そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書に示されている操作方法および安全に関する注意事項は、エアブロー作業専用集塵作業台を所定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。

この取扱説明書に書かれていない使用方法をおこなう場合に必要な安全に対する配慮は、すべてお客様(貴社)の責任のもとでおこなっていただくか、あるいは弊社まで必ず問い合わせのうえ使用してください。


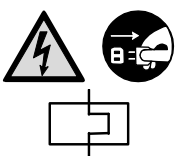

 警告	
 <b>禁止</b>	<p>工作機械サイドでの被加工物の切削粉や切削油のエアブロー作業以外の目的に使用しないでください。</p>
 <b>吸引禁止</b>      	<p>火災事故防止のため、以下のような火気および爆発性の粉塵・含塵液体液霧は絶対に吸引しないでください。また、可燃性雰囲気内での使用禁止。</p> <p><b>火のついたもの：</b> タバコの吸い殻、マッチなどの火種</p> <p><b>火花を含むもの：</b> 研削加工時に発生する火花や火の粉を含む粉塵等</p> <p><b>引火性のもの：</b> ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油等。 引火点120℃以下の油や引火点135℃以下の洗浄液、及び引火性物質が付着混在した物質等の吸引を禁止。 また同じく発火点の低い油や物質等</p> <p><b>爆発性のもの：</b> アルミニウム、マグネシウム、チタン、エポキシ樹脂等の爆発性粉塵、爆発性物質および粒径・濃度その他の条件により粉塵爆発を起こす可能性のある粉塵や爆発性液体、液霧および爆発性物質が付着混在した物質等</p> <p><b>可燃性のもの：</b> 可燃性粉塵や可燃性液体液霧および可燃性物質が付着混在した物質等</p> <p><b>非常性のもの：</b> 腐蝕性物質、粘着性物質等およびそれらが付着混在する物体等、ならびに非常性のものが多く含まれる気体等</p> <p><b>発熱性のもの：</b> 発熱性の物質。条件等により発熱するおそれのある物質等</p>
 <b>必ず守る</b>	<p>油・洗浄液の引火点について 切削油が爆発性、可燃性、引火性(引火点 120℃以下の場合)、洗浄液は爆発性、可燃性、引火性(引火点 135℃以下の場合)のものは使用できません。</p>
 <b>吸引禁止</b>	<p>可燃性粉塵や可燃性物質が付着した粉塵の吸引はしないでください。不燃性物質が加工等により可燃性に変化している可燃性物質は特に注意が必要です。可燃性粉塵に変化しているかどうかの判断は非常に難しく、お客様の責任において判断願います。また、可燃性粉塵と判明した場合は直ちに本機の使用を停止してください。</p>







 **警告**

<p>△ 共用注意 △ 混合注意</p>	<p>取り扱う粉塵のそれぞれがたとえ安全なものであっても粉塵が混合することにより危険な物質に変化する場合があります。混合に伴う物質の変化には特に注意が必要です。お客様の責任においてご確認願います。粉塵の混合に伴う安全性が確認出来なければ同一機での共用使用は絶対におこなわないでください。それぞれの粉塵に対する専用化をお願い致します。(目的粉塵の専用機であることを明確表示してください。)尚、混合された捕集粉塵の廃棄処理については想定外の諸問題の発生も考えられますのでお客様の責任において判断願います。</p> <p>除塵エアブロー作業専用です。液体で濡れた粉塵や含液粉塵にそれぞれ使用可能です。濡れた粉塵とは粉塵中に液体そのものが混在する粉塵のことをさします。尚、YMSで想定しております液体とは水溶性油、引火点120℃以上の安全な油、引火点135℃以上の洗浄液等で爆発性・可燃性・引火性等の危険のないものをさします。また、取扱う液体のそれぞれがたとえ安全なものであっても液体が混合することにより危険な物質に変化する場合があります。混合に伴う物質の変化には特に注意が必要です。お客様の責任においてご確認願います。液体の混合に伴う安全性が確認出来なければ、同一機での共用使用は絶対におこなわないでください。それぞれの液体に対する専用化をお願い致します。(目的液体の専用機であることを明確表示してください。)尚、混合された捕集液体の廃液処理については想定外の諸問題の発生も考えられますので、お客様の責任において判断願います。</p>
<p>⊘ 禁止 </p>	<p>ディスクサンダー等の研磨・研削作業等や火花の出る作業には使用できません。</p>
<p>⊘ 禁止</p>	<p>次の場所では使用しないでください。爆発や火災のおそれがあります。 ・防爆を要求する環境 ・腐蝕性ガスや可燃性・爆発性ガスを取り扱う場所</p>
<p>⊘ 禁止</p>	<p>火災事故防止のため、仕様に表示された電源の規格以外で使用しないでください。</p>
<p>⊘ 分解禁止 </p>	<p>構成部品の取り外しや改造、無理な分解・組立ではおこなわないでください。 ・製品は安全・性能面での基準で製作しており、取り外しや改造は危険です。 ・異常内容によっては、お客様による対応が不可能な場合がありますので必ずお買い求めの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。</p>
<p>⊘ 増減速禁止</p>	<p>インバーターによる増速・減速運転はおこなわないでください。 増速はモータの過負荷や回転体などの強度面で危険が生じます。</p>
<p>● 必ず守る</p>	<p>回転方向の確認をおこなってください。(三相タイプのみ) 回転方向の確認には指や物での接触による確認は危険ですので絶対おこなわないでください。</p>








 警告

<p>● 必ず守る</p>	<p>粉塵や廃液はためておかず、早めの処理をおこなってください。 粉塵は条件により、燃焼や爆発の危険があります。</p>
<p>● 必ず守る</p> 	<p>感電事故防止のため、以下の事項を必ず守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結線や電源にかかわる作業時には必ず元電源を遮断して作業してください。誤って元電源が入らないよう「投入禁止」の札を付ける等、元電源の遮断管理を適切におこなってください。</li> <li>・アース(接地)を必ず取り付けてください。</li> </ul>
<p>● 必ず守る</p> 	<p>モータ内部に過負荷保護装置のサーマルプロテクターが内蔵されています。サーマルプロテクターが動作した場合は、すぐに本機の元電源を切ってください。(保護装置による電源の遮断が望ましいです。)</p> <p>サーマルプロテクターはモータが過負荷運転となった時、モータ内部温度が上昇(約120℃前後)すると、自動的に働いてモータの運転を停止させます。</p> <p>また、停止後モータ内部の温度が低下(約80℃前後)すると、サーマルプロテクターは自動的に復帰(接点が導通)しますので、電源が投入されたままの状態では復帰と同時にモータの運転が再開されます。</p> <p>サーマルプロテクターは動作後にモータ内部温度の低下(約80℃前後)により自動復帰し運転が自動的に再開される仕様ですので、電源が投入された状態のままですと突然モータの運転が再開され予期せぬ事故の発生原因となるおそれがあり大変危険です。</p> <p>自動復帰による事故防止の為、必ず本機の元電源を切ってください。</p> <p>尚、サーマルプロテクターが動作した原因を究明・除去するまでは、運転を再開させないでください。</p>
<p>● 必ず守る</p> 	<p>保守・点検作業時には、必ず元電源を遮断して作業をおこなってください。誤って元電源が入らないよう「投入禁止」の札を付ける等、元電源の遮断管理を適切におこなってください。</p>



 注意

<p>● 必ず守る</p>	<p>設置場所の周囲状況を考慮してください。 ・屋内で風雨や直射日光にさらされない所としてください。 ・電源周辺やファンモータに水や油がかからないように注意してください。 ・本体に著しい振動や衝撃が加わらない場所でご使用ください。 ・温度は－10℃以上40℃以下。湿度は80%以下でご使用ください。 ・水平になるよう凹凸のない平坦な面で丈夫な場所に設置してください。</p>
<p>● 必ず守る</p>	<p>火災事故防止のため作業後には必ず、粉塵・含液粉塵、周囲に飛散した粉塵・含液粉塵等の処理および点検をおこなってください。</p>
<p>● 必ず守る</p>	<p>構成部品の取り付けは確実にこなってください。 取り付け不良による漏れでモータが過負荷となり、焼損のおそれがあります。</p>
<p>● 必ず守る</p>	<p>取扱説明書は簡単に参照できるように、製品のそばに保管してください。</p>
<p>△ 注意</p>	<p>本取扱説明書は日本国内標準仕様(单相100V、单相200V、三相200V)で作成しておりますので、特注品仕様(異電圧を含む)においては別途お問い合わせください。</p>
<p>△ 注意 </p>	<p>運転中および停止後しばらくはファンモータ表面が高温となっている場合がありますので、触れないようご注意ください。</p>
<p>⊘ 禁止 </p>	<p>取扱説明書を理解できるまでは、製品の設置、使用、保守をしないでください。</p>
<p>⊘ 禁止</p>	<p>断続少量液体スプレーミストの捕獲には適しますが液体そのものや多量の液体スプレーミストの捕獲には使用しないでください。</p>
<p>△ 注意 </p>	<p>粉塵が勢いよく飛散する作業の場合は、保護メガネの着用をお願いします。</p>














○ Safety Precautions

 <b>WARNING</b>	
<p>⊘ Prohibited</p>	<p>Never use the working machine for the purpose other than air blow of the cutting dust or coolant of material at the working machine.</p>
<p>⊘ No vacuuming</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; gap: 10px;">       </div>	<p>To prevent fire, never vacuum in the substance as follows, the fire, explosive dust or the liquid or mist which contains dust. Never use in flammable gas.</p> <p><b>Burning substance :</b> fire sources such as cigarette end and match</p> <p><b>Substance which contains sparks:</b> dust contains scintillations or sparks generated during grinding process.</p> <p><b>Flammable substance:</b> Gasoline, thinner, benzene, kerosene, etc. Coolant with a ignition point lower than 120°C or the cleaning liquid with a ignition point lower than 135°C or substance contains flammable materials etc. Or the coolant or substance with a low ignition point etc.</p> <p><b>Explosive substance:</b> Explosive dust, such as aluminum, magnesium, titanium, epoxy resin etc., explosive materials, dust which may bring on dust explosion depending on the particle size, consistency and other conditions, •explosive liquid or mist and materials attached or mixed with explosive materials, etc.</p> <p><b>Combustible substance:</b> combustible dust, liquid, mist, or substance contains those combustible materials.</p> <p><b>Extraordinary substance:</b> Corrosive materials, adhesive materials, the materials attached or mixed with adhesive materials, and gas which contains a lot of extraordinary materials, etc.</p> <p><b>Exothermic substance:</b> Exothermic materials. The materials may produce heat in some conditions.</p>
<p>● Must observe</p>	<p>Regarding ignition point of coolant and cleaning liquid Never use when the coolant is explosive, flammable, or ignitable (with an ignition point lower than 120°C), or when the cleaning liquid is explosive, flammable, or ignitable (with an ignition point lower than 135°C).</p>
<p>⊘ No vacuuming</p>	<p>Do not suck in flammable dust or any dust containing flammable substances. Pay special attention to any flammable material which has changed from a nonflammable one due to operation. The user is responsible for judging whether the material has turned into a flammable one or not. When you find flammable dust, stop the operation immediately.</p>



 **WARNING**

<p>△ Share attention △ Blend attention</p>	<p>Even though each kind of dust is safe by itself, a dangerous substance may be generated when the dust is mixed. Pay special attention to any change in substances due to mixing. The user is responsible for checking the safety of the materials. If you are not sure whether the mixed dust is safe or not, never use the same dust collector for different kinds of dust. Please use separate dust collectors for each kind of dust. (Indicate clearly that the machine is exclusively for a particular kind of dust.) Furthermore, when you dispose of the mixed dust which was sucked and collected, be aware that an unexpected problem may occur. The user is responsible for disposing of the accumulated dust.</p> <p>YMS types are available for dust clearing air blow operations. The YMS type for wet dust or dust containing liquid. For your reference, the liquid which is assumed in the YMS is liquid without danger of explosion, inflammation, or ignition, namely, water, water-soluble oil, or safe oil which does not ignite below 120°C, or a cleansing agent which does not ignite below 135°C. Even though each of the several kinds of liquid is safe itself, a dangerous substance may be generated when the liquid is mixed. Pay special attention to any change in substances due to mixing. Checking the safety of the materials is the user's own responsibility. If you are not sure whether the mixed liquid is safe or not, never use the same machine for different kinds of liquid. Please use separate machines for each kind of liquid. (Indicate clearly that the machine is exclusively for a particular kind of liquid.) Furthermore, when you dispose of the mixed liquid which was sucked and collected, be aware that an unexpected problem may occur. It is your own responsibility to make a careful judgment.</p>
<p>⊘ Prohibited</p> 	<p>Never do the operations which generate sparks such as grinding or disc sanding.</p>
<p>⊘ Prohibited</p>	<p>Do not use the product at the following locations. There is a risk of explosion or fire.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>· Explosion-proof environment</li> <li>· Places where handling corrosive gas or flammable or explosive gas</li> </ul>
<p>⊘ Prohibited</p>	<p>To prevent fires, only use the specified rated power source.</p>
<p>⊘ No disassembly</p> 	<p>Never remove or alter any components of the machine. Never disassemble or assemble the unit by force.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>· The components were manufactured according to the fixed standard of safety and function. Therefore never remove or alter any components of the machine because it is dangerous.</li> <li>· Contact the manufacturer's representative from which you bought the machine or any of our sales offices because sometimes it is impossible for you to repair it on your own.</li> </ul>


 **WARNING**

<p> Speed up/down Prohibited</p>	<p>Never increase the speed using the inverter.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>· If the rotation speed is increased, the motor will become overloaded, and the rotor may not be strong enough to withstand the high speed. Also, if the rotation speed is decreased, the motor cannot generate sufficient wind intensity for cooling down the motor.</li> </ul>
<p> Must observe</p>	<p>Verify the direction of rotation (Three-phased type)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>· Never touch the motor or the fan with your finger or anything else to make sure of the direction of rotation. It is very dangerous.</li> </ul>
<p> Must observe</p>	<p>Perform the processing quickly without letting dust accumulate. Depending on the conditions, dust could present a fire or explosion hazard.</p>
<p> Must observe</p> <p>  </p>	<p>Be sure to observe the following to prevent electrical shock accidents.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>· Be sure to turn off the main power switch when you handle the power lines or other switches. Attach a 'Don't Turn On' tag to the main power switch so that it is not turned on by mistake. Use special care in managing the power supply.</li> <li>· Be sure to ground it.</li> </ul>
<p> Must observe</p> <p>  </p>	<p>Be aware of the following if your machine is equipped with the thermal-protector.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>· When the motor becomes overloaded, the thermal-protector begins working automatically and stops the operation of the machine. If the power remains on, operation will start when the thermal-protector is reset automatically. Therefore, be sure to cut off the power source right after the thermal-protector starts working and ceases the operation of the machine.</li> </ul>
<p> Must observe</p> <p></p>	<p>Be sure to turn off the switch and main power switch before you start maintenance checks or part replacement. Use special care in managing the power supply so that it is not turned on by mistake.</p>

 **CAUTION**













<p>● Must observe</p>	<p>Take into consideration the conditions surrounding the installation area.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>· Install the unit in an indoor location not subject to wind, rain, or direct sunlight.</li> <li>· Where possibly wet by water, oil, chemicals, etc.</li> <li>· Where exposed to marked vibrations or shock.</li> <li>· The temperature range should be -10°C to 40°C. Use the unit in a humidity range of 80% or less.</li> <li>· Install the unit in a strong place in smooth respect without the unevenness to become the horizontal.</li> </ul>
<p>● Must observe</p>	<p>To prevent a fire accident, always check the dust, and inspect the YMS before concluding the work for the day.</p>
<p>● Must observe</p>	<p>Be sure to correctly install the components. Leaks from defective installation could overload the motor and cause it to burn out.</p>
<p>● Must observe</p>	<p>Store this manual close to the product where it can be referenced easily.</p>
<p>△ Caution</p>	<p>This instruction manual is based on the specifications (single-phase 100V, single-phase 200V, three-phase 200V) for the standard types in Japan. Please ask our office about any particular specification (e.g. a type for different voltage) for a machine on order.</p>
<p>⊘ Prohibited</p> 	<p>Do not install, use, or service this product until you understand this manual.</p>
<p>⊘ Prohibited</p>	<p>This machine is suit to be used to vacuum intermittent and low amount liquid spray mist. Please do not use it to vacuum liquid itself or major amounts of liquid spray mist.</p>
<p>△ Caution</p> 	<p>If the dust shatters greatly during working, please wear protective glasses.</p>












○ 安全注意事项

 警告	
 禁止	除在机床上对加工原材料的切削粉尘及切削油进行吹尘作业以外，禁止用于其他用途。
 禁止	除常温常压状态下的空气以外，禁止使用其他气体。
 禁止吸入      	<p>为了防止火灾的发生，禁止吸入下述容易引起燃烧以及易爆性粉尘、含尘液体和雾体。另外，禁止在易燃环境中使用本设备。</p> <p><b>已点燃的物质：</b>烟头、火柴等的火种</p> <p><b>带有火花的物质：</b>磨削加工时产生的火花及带有火星的粉尘等</p> <p><b>易燃物质：</b>汽油、稀释剂、挥发油、煤油等 燃点低于 120℃的油类、燃点低于 135℃的清洁剂以及附着、混有易燃物质的物质等</p> <p>此外，还包括自燃点较低的油类和物质等</p> <p><b>易爆物质：</b>由于铝、镁、钛、环氧树脂等易爆粉尘、易爆物质以及粒径、浓度等条件可能引起粉尘爆炸的粉尘、易爆液体、雾体以及附着、混有易爆物质的物质等</p> <p><b>可燃物质：</b>可燃粉尘、可燃液体、雾体以及附着、混有可燃物质的物质等</p> <p><b>异常物质：</b>腐蚀性物质、粘性物质和附着、混有这些物质的物体等，以及含有较多异常物质的气体等</p> <p><b>发热物质：</b>发热物质。由于各种条件可能引起发热的物质等</p>
 禁止 	禁止用于圆盘打磨机等抛光、磨削等作业以及容易产生火花的作业。
 禁止	禁止在下述环境中使用。否则可能引起爆炸或火灾。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 需要防爆的环境</li> <li>• 使用腐蚀性气体或可燃、易爆气体的环境</li> </ul>
 禁止	禁止对含有燃点和自燃点较低物质的清洁剂、切削油进行吹尘作业。
 禁止	严禁作为喷漆台使用。
 必须遵守	如果抛磨物体与切削油的混合、以及抛磨物体与清洁剂的混合会产生危险物质，则禁止使用本设备。
 必须遵守	如果抛磨物体与清洁剂的混合会产生危险物质，则禁止使用本设备。
 必须遵守	为了防止倾倒，请不要攀上工作台或在工作台上放置重物。
 注意	
 禁止	可以用于吸取间断的少量液体喷雾，但是请不要用于吸取液体本身及大量液体喷雾。
 注意 	在粉尘飞散的作业环境中，建议使用防护眼镜。



○ ข้อความระวังเพื่อความปลอดภัย

 คำเตือน	
 ห้าม	ห้ามใช้เพื่อวัตถุประสงค์อื่นนอกจากงานที่ใช้ปืนเป่าลมสำหรับเศษผงหรือน้ำมันหล่อเย็นจากการตัดออกจากชิ้นงานในที่ปฏิบัติงานกึ่งหรือตัดโลหะ
 ห้าม	ห้ามใช้กับแก๊สออกเหนือจากอากาศธรรมดาที่มีแรงดันและความชื้นปกติ
 ห้ามดูเข้า      	<p>กรุณาอย่าใช้ดูดวัสดุติดไฟได้หรือผงและละอองของเหลวที่มีฝุ่นผสมซึ่งระเบิดได้ตามที่ระบุไว้ต่อไปนี้เป็นอันตรายเนื่องจากวัสดุเหล่านี้ก่อให้เกิดอุบัติเหตุไฟไหม้ได้ นอกจากนี้ห้ามใช้ในสภาพแวดล้อมที่มีการติดไฟได้ง่าย</p> <p><b>วัสดุที่ติดไฟอยู่:</b>          กันบูหรี่ ไม่ขีดไฟที่ติดไฟอยู่ เป็นต้น</p> <p><b>วัสดุที่มีประกายไฟ:</b>          ผงที่ปนละอองไฟที่เกิดจากการขัดลับ เป็นต้น</p> <p><b>วัสดุไวไฟ:</b>          ห้ามใช้ดูดน้ำมันประเภทที่1และประเภทที่2 น้ำมันที่มีจุดวาบไฟที่ 120 องศาเซลเซียสหรือต่ำกว่า นํ้ายาทำความสะอาดที่มีจุดวาบไฟที่ 135 องศาเซลเซียสหรือต่ำกว่า หรือสสารที่ปนเปื้อนหรือมีส่วนผสมของสสารไวไฟ รวมถึงสสารและน้ำมันที่มีจุดวาบไฟต่ำ</p> <p><b>วัสดุที่ระเบิดได้:</b>          ผงที่ระเบิดได้ เช่น อลูมิเนียม แมกเนเซียม ไทเทเนียม และอีพ็อกซี เรซิน สสารที่ระเบิดได้ ผงที่ก่อให้เกิดระเบิดผงได้หากมีสถานะตามเงื่อนไข เช่น ขนาดของอนุ และความหนาแน่นของเหลวและละอองที่ระเบิดได้ สสารที่ปนเปื้อนหรือมีส่วนผสมของสสารที่ระเบิดได้</p> <p><b>วัสดุติดไฟได้:</b>          ผงหรือละอองของเหลวที่ติดไฟได้ และสสารที่ปนเปื้อนหรือมีส่วนผสมของสสารที่ติดไฟได้ เป็นต้น</p> <p><b>วัสดุที่มีคุณสมบัติไม่ธรรมดา:</b>          สสารมีฤทธิ์กัดกร่อน สสารที่มีความเหนียว สสารที่ปนเปื้อนหรือมีส่วนผสมของสสารเหล่านั้นของเหลวที่มี วัสดุที่มีคุณสมบัติไม่ธรรมดาผสมอยู่มาก เป็นต้น</p> <p><b>วัสดุให้กำเนิดความร้อน:</b>          สสารที่ให้กำเนิดความร้อน สสารที่ให้กำเนิดความร้อนได้หากมีสถานะตามเงื่อนไข เป็นต้น</p>
 ห้าม 	ไม่สามารถใช้ในงานขัดและงานเจียรที่มีการใช้เครื่องมือ เช่น เครื่องขัดกระดาษทรายแบบกลม หรือในงานที่เกิดประกายไฟ

 คำเตือน	
 ห้าม	ห้ามใช้ในสถานที่ต่อไปนี้ เนื่องจากอาจเกิดระเบิดหรือไฟไหม้ได้ <ul style="list-style-type: none"> <li>• สภาพแวดล้อมที่ต้องมีการป้องกันการระเบิด</li> <li>• สถานที่ที่มีการใช้แก๊สที่มีฤทธิ์กัดกร่อน                      แก๊สที่ติดไฟได้ หรือแก๊สที่ระเบิดได้</li> </ul>
 ห้าม	ห้ามใช้กับงานที่ใช้ปืนเป่าลมสำหรับนํ้ายาทำความสะอาดหรือนํ้ามันหล่อเย็นที่มีส่วนผสมของสสารที่มีจุดวาบไฟและจุดสันดาปต่ำ
 ห้าม	กรุณาอย่าใช้เป็นที่รองพ่นสีโดยเด็ดขาด
 ปฏิบัติตาม โดยเด็ดขาด	ไม่สามารถใช้งานได้ในกรณีที่เศษจากการตัดกับนํ้ามันหล่อเย็นผสมกันหรือเศษจากการตัดกับนํ้ายาทำความสะอาดผสมกันแล้วกลายเป็นวัตถุอันตราย
 ปฏิบัติตาม โดยเด็ดขาด	ไม่สามารถใช้งานได้ในกรณีที่นํ้ามันหล่อเย็นผสมกับนํ้ายาทำความสะอาดแล้วกลายเป็นวัตถุอันตราย
 ปฏิบัติตาม โดยเด็ดขาด	กรุณาอย่าป็นชั้นพื้นที่ทำงานหรือวางของหนักบนพื้นที่ทำงานเนื่องมาจากเครื่องจักรอาจล้มได้
 ข้อควรระวัง	
 ห้าม	เหมาะกับการใช้ดักจับละอองของเหลวปริมาณเล็กน้อย แต่กรุณาอย่าใช้ดักจับของเหลวหรือละอองของเหลวปริมาณมาก
 ข้อควรระวัง 	ขอแนะนำให้ใช้แว่นตานิรภัยในกรณีของงานที่เศษผงพุ่งแรง

## 5. 安全に関する詳細説明

---

### 5.1 取扱責任者



電気技術専門家による取り扱いをお願いいたします。

### 5.2 製品の使用定格の確認



#### 5.2.1 製品の使用環境範囲でご使用ください。

取り扱う気体は一般空気です。

腐食性ガスや可燃性・爆発性ガスを取り扱う場所では運転禁止です。



#### 設置場所

屋内で風雨や直射日光にはさらされない所で使用

室温-10度以上 40度以下で使用

湿度は 80%以下で使用

電源周辺やファンモータに水や油がかからないように注意する

本体に著しい振動や衝撃が加わらない場所で使用

水平になるよう凹凸のない平坦な面で丈夫な場所に設置

#### 5.2.2 ご購入いただいた製品の仕様確認をお願いいたします。

型式、電圧、付属品

### 5.3 製品状態の確認



#### 5.3.1 梱包状態の確認

梱包には万全をつくしておりますが、輸送中の衝撃、振動等による破損箇所がないかご確認ください。万一異常がございましたら、すぐにお買い求めの販売店へご連絡ください。



#### 5.3.2 開梱のご注意

梱包には釘等を使用している場合がありますので、開梱の際には怪我をされないようご注意ください。

### 5.4 製品の搬送、保管



#### 5.4.1 製品の重量を把握してください

設置・移動の際には、指、足や身体のいかなる部分も製品の下に入れないでください。



#### 5.4.2 保管について

梱包した状態： 室内で温度変化が少なく、乾燥した場所で保管してください。

据え付けた状態： 水や油、ほこりなどの異物が侵入しないようカバー等で保護してください。

長期保管： 長期間保管をする場合に、本機が未開梱の状態や開梱済みの状態等にかかわらず、保管環境によっては軸受けグリースの潤滑切れや錆の発生で、異常音の発生原因になることがまれにあります。

長期間保管または長期間停止後に本機を運転する際には、一度試し運転を行ない異常音の確認を行なってください。万一異常音が発生した場合には、お買い上げの販売店または弊社営業所までご連絡ください。

## 5.5 電源接続

### 5.5.1 元電源からの切断手段を設定

電源プラグコード使用時以外の固定配線をする場合は、電源から全極を切断出来る方法を設けること。



### 5.5.2 感電および事故防止

結線またはその他の電源に関する作業：元電源を遮断して作業してください。誤って元電源が入らないよう元電源の遮断管理を適切におこなってください。



例：投入禁止札、投入禁止ロックの使用  
アースを必ず取り付けてください。



### 5.5.3 ファンの逆回転での使用禁止

三相タイプの場合、電源の接続の具合で正逆どちらにも回転しますので、電源の結線が終わりましたら逆回転していることも考慮して、正回転であることを確認するまでは長くモータを回さないでください。また、必ず本機背面側の風胴ケーシングとモータ間の格子穴から見える羽根車の回転方向が矢印の方向と同じであることを確認し、逆回転では決して使用しないでください。逆回転のときは、電源コード3線中2線を振り替えて接続しますと正回転となります。回転方向を確認した後は、電源の接続部の処置を確実にこなってください。



### 5.5.4 インバーターによる増速・減速運転禁止

増速はモータの過負荷や回転体などの強度面で危険が生じます。



### 5.5.5 サーマルプロテクターが内蔵されています。

サーマルプロテクターが動作したときは、本機の電源を必ず切ってください。

サーマルプロテクターは過負荷等の状態で動作しますが、モータ内部の温度が約120℃前後になると自動的にモータを停止し、停止後モータ内部の温度が約80℃前後に下がると自動的に復帰(接点が導通)しますので、電源が入ったままですと突然モータの運転が再開され予期せぬ事故の発生原因となるおそれがあり大変危険です。

サーマルプロテクターが動作した原因を究明した後で電源を投入してください。

## 5.6 構成部品および製品の取り扱い



### 5.6.1 構成部品の取り外しや改造はおこなわないでください。

構成部品の取り外しや改造はおこなわないでください。製品は安全面、性能面での基準の下で製作しておりますので取り外しや改造は危険です。



### 5.6.2 無理な分解・組立てはおこなわないでください。

異常内容によっては、お客様による対応が不可能な場合があります。お買い求めの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。

### 5.6.3 構成部品の取り付け位置の十分な管理をお願いします。

### 5.6.4 特注品仕様について

特注品の取り扱いにつきましても、本取扱説明書の内容に準拠していただき、別途取り交わした条件等(フード部形状変更、特注部品、使用条件…etc)にかかわる注意事項をお守りください。

## 5.7 保守・点検、パーツ取替え作業などの安全対応



### 5.7.1 電源の管理を必ず実施。



元電源を遮断して作業してください。誤って元電源が入らないよう元電源の遮断管理を適切におこなってください。例：投入禁止札、投入禁止ロックの使用



### 5.7.2 回転体の停止確認を必ずおこなう。

吸い込まれたり、接触したりする事故が発生するので危険です。



## 6. 製品の概要

お買い上げ頂きました淀川電機のエアブロー作業専用集塵作業台がお客様のご使用目的に適しておりますかご確認ください。

### 6.1 現品の確認

- ◎本体に取り付いている銘板に記入されている型式、電圧、周波数をご注文品に間違いありませんか。
- ◎梱包には万全をつくしておりますが、輸送中の衝撃、振動等による破損箇所がありませんか。
- ◎万一異常がございましたら、すぐにお買い求めの販売店へご連絡ください。
- ◎付属品：取扱説明書、ミニシャベル、後部フィルター(交換用)、キャスター

### 6.2 製品の特徴

- ・エアブローのための機械停止時間を短縮し、工作機械稼働効率の向上。
- ・湿っても性能低下が少なく、リフレッシュ可能な特殊フィルター内蔵。
- ・本体下部にドレンプラグ付液体回収タンク装備。
- ・本体内の接ガス部・接液部は簡易耐蝕処理済み。また同部周辺のパーツも耐蝕パーツや簡易耐蝕処理パーツを使用。ラバー類は耐油タイプを使用。











### 6.3 用途

工作機械サイドでの被加工物の切削粉や切削油の除塵エアブロー作業専用。

本機のフィルター仕様及び構造は、「YMSタイプ」(濡れた粉塵や含塵液体用、型式中にYMSの表示)ですので、ご使用に対応した使用方法としてください。



注記:水分とは、水溶性油等の水を含む液体のことをさしており、水のみ吸引・回収を目的とした使用はお避けください。

 警告	
 <b>吸引禁止</b>    	本機は被加工物の切削粉や切削油の除塵エアブロー作業専用機です。火気および爆発性の粉塵・含塵液体液霧は絶対に吸引させないでください。火災事故等防止のため、引火性のもの、爆発性のもの、火花を含んだもの、火のついたもの(火種、タバコ等)、可燃性のもの、引火性・可燃性・爆発性物質等が付着したものの吸引は禁止です。又、液体・液霧に対しても同等禁止事項です。
 注意	
 <b>必ず守る</b>	フィルター仕様については、捕集目的物や作業に対応した使用方法をお守りください。フィルター仕様が異なると、フィルターの目詰まりや回復不能を発生させたり、粉塵の吹き漏れが生じたりする恐れがあります。
 <b>注意</b> 	粉塵が勢いよく飛散する作業の場合は、保護メガネの着用をお願いします。



注記:YMSタイプでも液体そのものや多量の液体スプレーミストの吸引は出来ません。  
また、水のみ吸引・回収を目的とした使用はお避けください。

## 6.4 製品の仕様

### ■ YMS-20J型

項目(単位)	型式	YMS-20JA	YMS-20JN	YMS-20JB
集塵方法		成形不織布カセットフィルター(湿塵用)＋後部フィルター		
電源電圧		単相100V	単相200V	三相200V
周波数		50Hz/60Hz	50Hz/60Hz	50Hz/60Hz
出力	kW	0.2		
電流	A	2.9/2.8	1.5/1.4	0.9/0.9
最大時風量	m <sup>3</sup> /min	7.5/9.0		
最高時静圧	kPa	0.81/1.17		
ドレンプラグ		本体下部後方 PT3/8 : ファン風胴下部 PT1/4		
作業面制御風速	m/s	1.7/2.0		
集液容量	リットル	13		
最大性能時騒音	dB(A)	排気音:66/68		
概算質量	kg	43		

### ■ YMS-40J型

項目(単位)	型式	YMS-40JA	YMS-40JN	YMS-40JB
集塵方法		成形不織布カセットフィルター(湿塵用)＋後部フィルター		
電源電圧		単相100V	単相200V	三相200V
周波数		50Hz/60Hz	50Hz/60Hz	50Hz/60Hz
出力	kW	0.4		
電流	A	4.4/5.2	2.2/2.6	1.5/1.7
最大時風量	m <sup>3</sup> /min	15/17		
最高時静圧	kPa	1.18/1.67		
ドレンプラグ		本体下部後方 PT3/8 : ファン風胴下部 PT1/4		
作業面制御風速	m/s	2.1/2.4		
集液容量	リットル	23		
最大性能時騒音	dB(A)	排気音:71/74		
概算質量	kg	65		

### ⚠ 注意

#### △ 注意

本仕様表は標準についての仕様となっていますので本仕様表と異なる(異電圧等)場合の機種詳細についてのご質問の場合はお問い合わせください。



(注記)

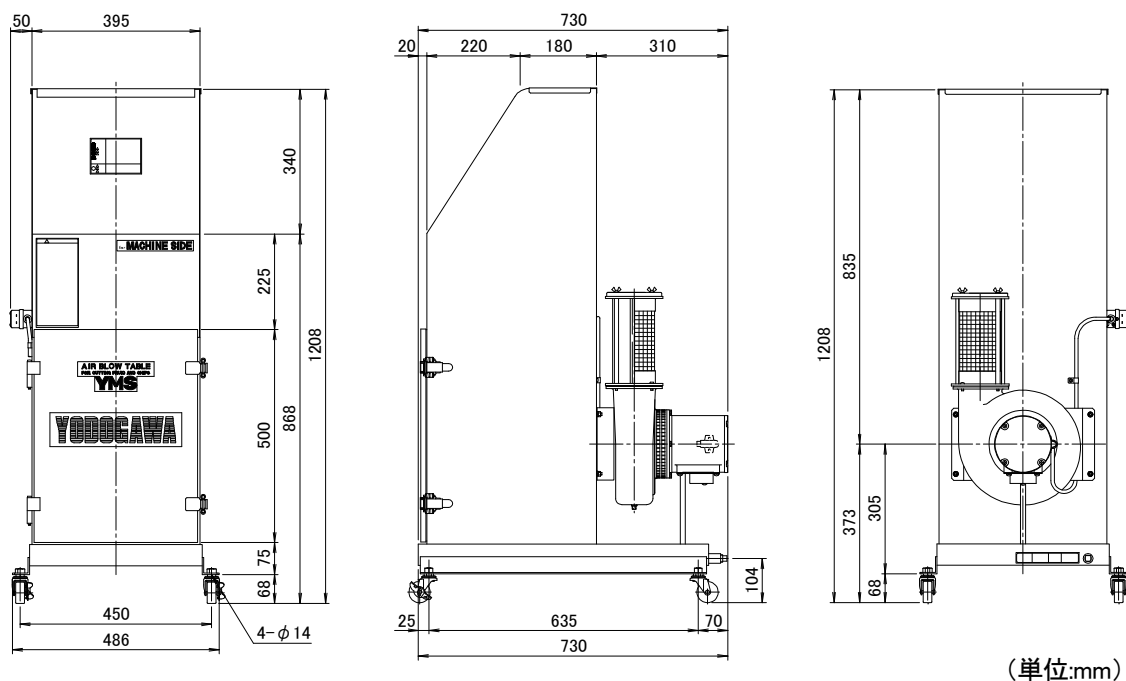
- 本仕様は単相100V、単相200V、三相200Vを基本に作成しておりますので、異電圧及び特注品仕様においては別途お問合せください。
- 性能の向上、改良の為、予告なく仕様・寸法等を変更させていただく場合がございますのでご了承ください。

◎オプション品:・指定色

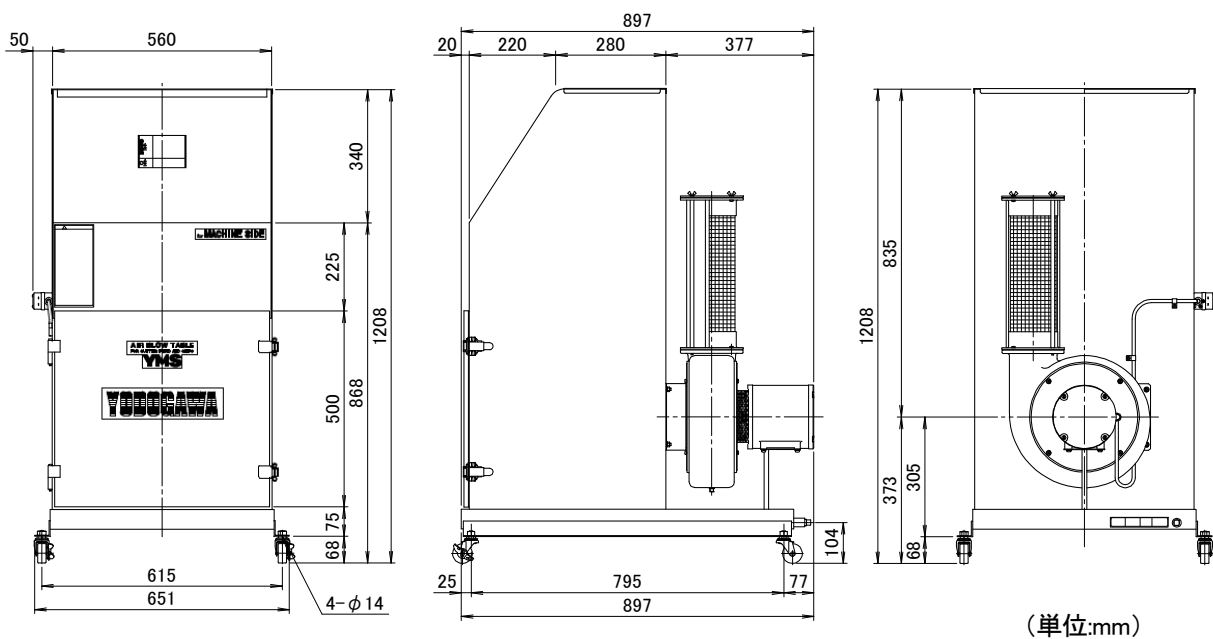
(但し、指定色は工場出荷時のみ対応可能です。)

## 7. 外形寸法図

### YMS-20J型



### YMS-40J型



●本外形寸法図は標準品仕様で作成しておりますので、特注品仕様においては別途お問合せください。



## 8. 構成部品の機能

### 警告

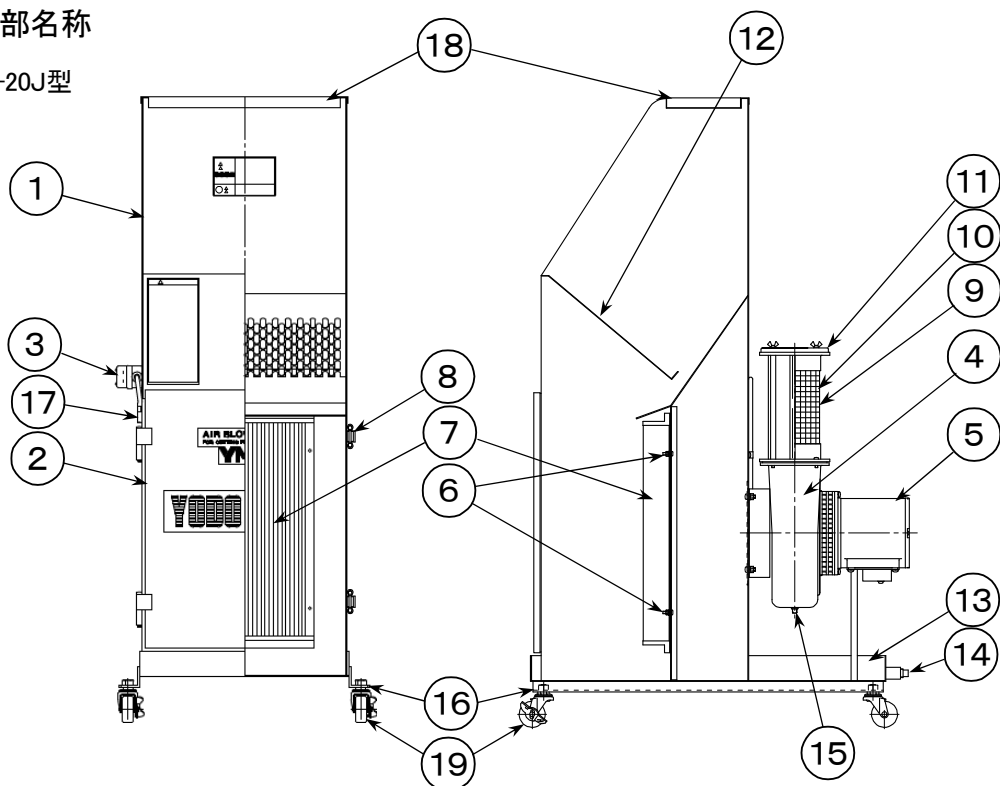


構成部品の取り外しや改造での使用は危険ですので絶対おこなわないでください。

エアブロー作業専用集塵作業台のそれぞれの構成部品および機能を把握していただき、安全運転および安全作業がおこなえるようにしてください。尚、構成部品はタイプ型式により、材質・サイズ等が異なる場合がありますのでご注意ください。

### 8.1 各部名称

例 YMS-20J型



No.	名 称	No.	名 称	No.	名 称
1	ケーシング本体	8	パッチン錠	15	ドレンプラグ(Ⅱ)
2	前扉	9	後部フィルター	16	脚
3	操作スイッチ	10	後部フィルター取付ネット	17	電源線
4	ファン部	11	排出部カバー	18	液切り棚
5	ファンモータ	12	エアブロー作業台	19	キャスター
6	フィルター固定ナット	13	回収液タンク		
7	成形カセットフィルター(湿塵用)	14	ドレンプラグ(Ⅰ)		

#### (1) ケーシング本体

フード部、作業台部、フィルター部、底板部で構成されており、一体型の構造になっています。

底板部は回収液タンクとなっており捕集された切削油等が溜まります。また、ケーシング本体内部には切削粉等が溜まります。

## (2) 前扉

カセットフィルターの脱着をおこなう為の取り出し口です。蝶番による取り付けとなっています。

前扉を開ける際には油が滴り落ちることが考えられますので、あらかじめウエス・新聞紙等を床面に用意していただき、前扉をある程度開けた状態にしてから開けることをお奨めします。

## (3) 操作スイッチ


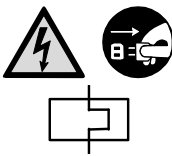


本機を運転・停止させるためのスイッチです。操作は簡単な押しボタン構造です。

## (4) ファン部

気体に速度と圧力を発生させ、集塵機としての吸引力を得るためのものです。

## (5) ファンモータ

ファンを回転させるための駆動部分で、直結となっています。モータ内部に過負荷保護装置のサーマルプロテクターが内蔵されています。(但し、単相100V、単相200V、三相200Vの日本標準仕様のみ内蔵)

 警告	
<p>● 必ず守る</p> 	<p>サーマルプロテクターが動作した場合は、すぐに本機の前電源を切ってください。(保護装置による電源の遮断が望ましいです。)</p> <p>サーマルプロテクターはモータが過負荷運転となった時、モータ内部温度が上昇(約120℃前後)すると、自動的に働いてモータの運転を停止させます。</p> <p>また、停止後モータ内部の温度が低下(約80℃前後)すると、サーマルプロテクターは自動的に復帰(接点が導通)しますので、電源が投入されたままの状態では復帰と同時にモータの運転が再開されます。</p> <p>サーマルプロテクターは動作後にモータ内部温度の低下(約80℃前後)により自動復帰し運転が自動的に再開される仕様ですので、電源が投入された状態のままですと突然モータの運転が再開され予期せぬ事故の発生原因となるおそれがあり大変危険です。</p> <p>自動復帰による事故防止の為、必ず本機の前電源を切ってください。</p> <p>尚、サーマルプロテクターが動作した原因を究明・除去するまでは、運転を再開させないでください。</p>
 注意	
<p>△ 注意</p> 	<p>運転中および停止後しばらくはファンモータ表面が高温となっている場合がありますので、触れないようご注意ください。</p>

## (6) フィルター固定ナット

フィルターをケーシングに固定させるためのものです。

## (7) 成形カセットフィルター(湿塵用)

粉塵を捕集するフィルターです。成形不織布による一体成形品となっています。

集塵装置本体にYMS-20J型は1個、YMS-40J型は2個取り付けられています。

YMS-20J型とYMS-40J型とは成形カセットフィルターのサイズ・個数が異なります。

成形カセットフィルターをご注文の際は、製品の型式を確認してください。

### (8) パッチン錠

前扉を固定する為のものです。

### (9) 後部フィルター

本機の最終フィルターとしてファン排出部に設置されています。後部フィルターは後部フィルター取付ネットおよび排出部カバーで取り付けられています。

### (10) 後部フィルター取付ネット

後部フィルターを取り付けるためのネットです。

### (11) 排出部カバー



ファン排出部に取り付けられている後部フィルターおよび後部フィルター取付ネットを固定する為のカバーです。

### (12) エアブロー作業台

格子穴の開いた作業台です。



注記: エアブロー作業台の吸引部などに溜まった切削粉や粉塵は定期的に清掃して取り除いてください。

 <b>警告</b>	
 <b>禁止</b>	本機は被加工物の切削粉や切削油の除塵エアブロー作業専用機です。火気および爆発性の粉塵・含塵液体液霧は絶対に吸引させないでください。また研磨作業、サンダー作業等での使用は禁止です。

### (13) 回収液タンク



捕集された切削油や切削粉が溜まるタンクです。  
切削粉等の粉塵はケーシング本体内に溜まります。

### (14) ドレンプラグ(Ⅰ) 回数液タンク部 (PT3/8ソケット)

捕集されて回収液タンクに溜まった液体(水分・油分等)を排液させるためのドレンプラグです。

### (15) ドレンプラグ(Ⅱ) ファン風胴部 (PT1/4ソケット)

ファン風胴内に液体(水分・油分等)が溜まった場合に液体を排液させるためのドレンプラグです。  
風胴内に液体が溜まった場合、本機停止中に回収液タンクへ滴り落ちるようにドレンプラグを緩く締めておきます。

 <b>注意</b>	
 <b>注意</b>	風胴部から液体が滴り落ちていても故障ではありません。

### (16) 脚

本機を固定したり、キャスターを取り付けたりするためのものです。




### (17) 電源線

単相タイプは、キャプタイヤコード及び、差し込みプラグが付属されています。

(但し、単相200V以上の場合にはプラグは付属していません。)

三相タイプは、4芯のキャプタイヤコードが付属されており、4芯中緑色線がアース用となっています。


(電源プラグは付属していません。)

 警告	
<p>● <b>必ず守る</b></p>  	電源線が損傷を受けた場合、事故の発生を避けるため、電源線の交換はメーカー、サービス代行業者または同等レベルの資格を備えている者がおこなわなければなりません。

### (18) 液切り棚

ワークや工具などを置くのにご使用ください。

不要の場合は取り外してください。

 注意	
<p>△ <b>注意</b></p>	液切り棚の固定は、はめ込み式です。下から持ち上げたり、衝撃を加えたりすると外れますのでご注意ください。






### (19) キャスター

移動用キャスターです。出荷時にはキャスターは取り付けておりませんので、キャスターを取り付けてご使用される場合は、「9.2.1 キャスターの取り付け」の頁をご参照ください。キャスターを取り付けて使用の際にはブレーキをロックしてお使いください。

## 9. 設置

長期間にわたり安全運転がおこなえるよう、以下の項目についてお守りください。  
なお、作業においては、専門知識のある人が責任をもっておこなうようにしてください。

### 9.1 設置場所

 警告	
 禁止	次の場所では使用しないでください。爆発や火災のおそれがあります。 ・防爆を要求する環境 ・腐蝕性ガスや可燃性・爆発性ガスを取り扱う場所
 注意	
 必ず守る	設置場所の周囲状況を考慮してください。 ・屋内で風雨や直射日光にさらされない所としてください。 ・電源周辺やファンモータに水や油がかからないように注意してください。 ・本体に著しい振動や衝撃が加わらない場所でご使用ください。 ・温度は $-10^{\circ}\text{C}$ 以上 $40^{\circ}\text{C}$ 以下。湿度は80%以下でご使用ください。 ・水平になるよう凹凸のない平坦な面で丈夫な場所に設置してください。
 必ず守る	本機を直接高温・多湿の場所にさらさないでください。 モータの焼損・故障のおそれがあります。

#### 9.1.1 設置場所




屋内で風雨や直射日光にさらされない所としてください。  
水や油のかかる場所や結露・急激な温度変化のある場所は避けてください。  
本体に著しい振動や衝撃が加わる場所は避けてください。

#### 9.1.2 周囲温度・湿度

温度は $-10^{\circ}\text{C}$ ～ $40^{\circ}\text{C}$ 。湿度は80%以下でご使用ください。

#### 9.1.3 雰囲気



防爆を要求する環境では運転できません。  
腐蝕性ガスや可燃性・爆発性ガスを取り扱う場所では運転できません。  
 また風通しが良く、正常空気の雰囲気でご使用ください。

#### 9.1.4 取扱い気体



取扱い気体は常温・常圧の一般空気としてください。  
腐食性ガスや可燃性・爆発性ガスは吸引禁止。

#### 9.1.5 電源




銘板に記された電源電圧を確認していただき、それらの配線が可能な場所で使用してください。

## 9.1.6 保守スペース

保守・点検等のスペースを確保してください。特に、日常の手入れに必要な本機前面や排液作業に必要な本機背面のスペースの確保をしてください。





## 9.2 設置方法



本機の設置は、水平になるよう、凹凸のない平坦な面にて、コンクリートや丈夫な鉄骨など堅固な基礎の上としてください。また、本機を固定して使用する場合はアンカーボルト(基礎ボルト)で固定してください。付属の移動用キャスターを使用する場合は「9.2.1 キャスターの取り付け」を参照してください。

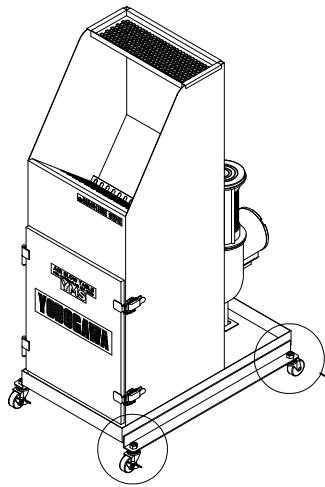
 警告	
 ● 必ず守る	転倒防止のため、フードや本機に乗ったり重量物を載せたりしないでください。
 ● 必ず守る	本製品の質量を確認の上、認識してください。 ・設置・移動の際には指、足や身体のいかなる部分も製品の下には入れないでください。 ・設置・移動の際には転倒等に十分注意を払ってください。

### 9.2.1 キャスターの取り付け

付属のキャスターを取り付けて使用される場合は、以下の図のように取り付けてください。  
(付属品: 前側用ブレーキ付キャスター 2ヶ 後側用ブレーキ無しキャスター 2ヶ)  
キャスターを取り付けて使用の際にはキャスターのブレーキをロックしてお使いください。

 警告	
 警告	キャスター取り付けの際には、本機の転倒に十分注意してください。安全を確保して作業をおこなってください。
 ● 必ず守る	キャスター取り付けの際には、必ず元電源を遮断して作業をおこなってください。誤って元電源が入らないよう「投入禁止」の札を付ける等、元電源の遮断管理を適切におこなってください。
 ● 必ず守る	本製品の質量を確認の上、認識してください。 ・設置・移動の際には指、足や身体のいかなる部分も製品の下には入れないでください。 ・設置・移動の際には転倒等に十分注意を払ってください。

 注意	
 注意	移動用キャスター使用時には特に転倒防止に注意を払ってください。また、作業時に動かないようにキャスターをロックするようにしてください。

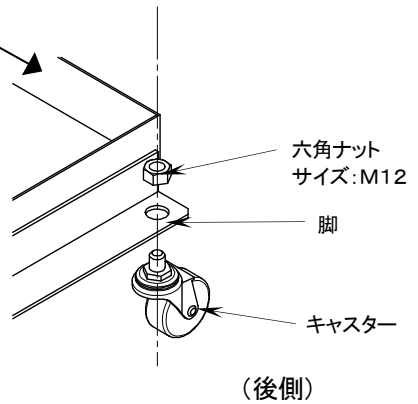
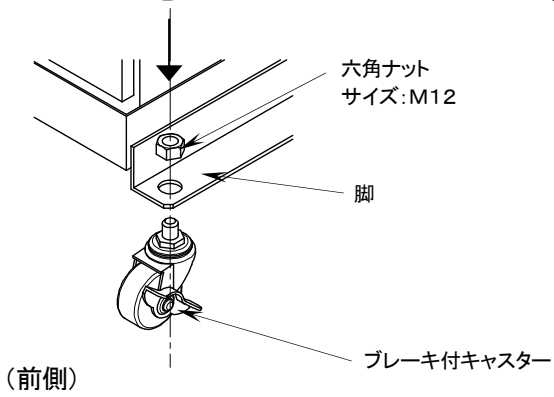


### キャスターの取り付け










- キャスターを下図に示すように、脚に取り付けます。
- 前側にブレーキ付キャスターを取り付けます。
- 六角ナットでしっかりと固定してください。

#### 警告

キャスター取り付けの際には、本機の転倒に十分注意してください。安全を確保して作業をおこなってください。





 警告	
● 必ず守る	必ず銘板に記された電源電圧でご使用ください。火災や感電のおそれがあります。
● 必ず守る   	感電事故防止のため、以下の事項を必ず守ってください。 ・結線や電源にかかわる作業時には必ず元電源を遮断して作業してください。誤って元電源が入らないよう「投入禁止」の札を付ける等、元電源の遮断管理を適切におこなってください。 ・アース(接地)を必ず取り付けてください。
● 必ず守る  	電源コードが損傷を受けた場合、事故の発生を避けるため、電源コードの交換はメーカー、サービス代行業者または同等レベルの資格を備えている者がおこなわなければなりません。
● 必ず守る	漏電・感電・火災事故防止のため、配線は電気設備技術基準・内線規定に従って施工してください。 また、配線工事は必ず電気工事士などの有資格者が実施してください。
● 必ず守る 	アースは電気設備基準に従って施工してください。
⊘ 禁止  	逆回転のまま使用されますと、十分な性能が出ないだけでなく、振動等が発生するおそれがあり危険です。逆回転は禁止です。 また、回転方向の確認には指や物での接触による確認は危険ですので絶対おこなわないでください。

### 9.3.1 仕様の確認



本機の電源仕様にあった供給電源を使用してください。

許容変動範囲は±10%以内で運転してください。

周波数範囲は銘板に記入されている定格周波数としてください。

### 9.3.2 配線用遮断機



モータの単相運転(三相タイプ)又は過負荷防止のため、配線用遮断器(電動機用)を取り付けてください。その場合必ず適用電動機(適合電流値)のものを使用してください。

また、漏電遮断器等の設置もお奨めします。

### 9.3.3 継ぎコード

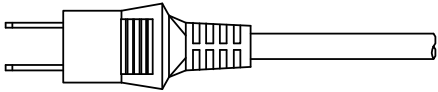
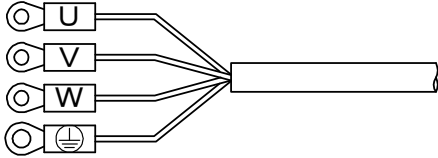
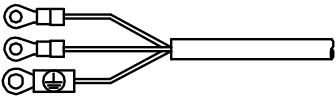


継ぎコードを使用して電源より離れた場所で使用される場合、継ぎコードの芯線が細いと電圧が低下し始動が困難となり十分な能力を発揮できなくなります。また、許容電流値以上の電流が流れることによりコードの絶縁が損なわれますので、必ず許容電流値以上の芯線のあるものをご使用ください。



### 9.3.4 電源コード

YMS-J型の電源コードは以下のタイプがあります。

単相100Vタイプ	三相タイプ
	
<p>口出し位置：右側面側            電源コード長さ：口出し部より2.1m            電源コード芯径：0.75mm<sup>2</sup> (YMS-20JA)                                      1.25mm<sup>2</sup> (YMS-40JA)            線端形状：プラグ付き</p>	
単相200V～240Vタイプ	
	<p>口出し位置：左側面側            電源コード長さ：口出し部より3.2m            電源コード芯径：1.25mm<sup>2</sup>            線端形状：</p>
<p>口出し位置：左側面側            電源コード長さ：口出し部より2.1m            電源コード芯径：1.25mm<sup>2</sup>            線端形状：                絶縁被覆付圧着端子丸形 2-4                絶縁被覆付圧着端子丸形 2-5(EARTH)</p>	<p>絶縁被覆付圧着端子丸形 2-4(UVW)            絶縁被覆付圧着端子丸形 2-5(EARTH)            300V以上 裸圧着端子丸形 2-4(UVW)            300V以上 裸圧着端子丸形 2-5(EARTH)            マークチューブ：赤-U、白-V、青-W、緑-⊕</p>

◇単相100Vタイプ

プラグ付きコードとなっていますので、コンセント(100V)へ確実に差し込んでください。

◇単相200V～240Vタイプ

付属のキャプタイヤコードを電源に接続してください。

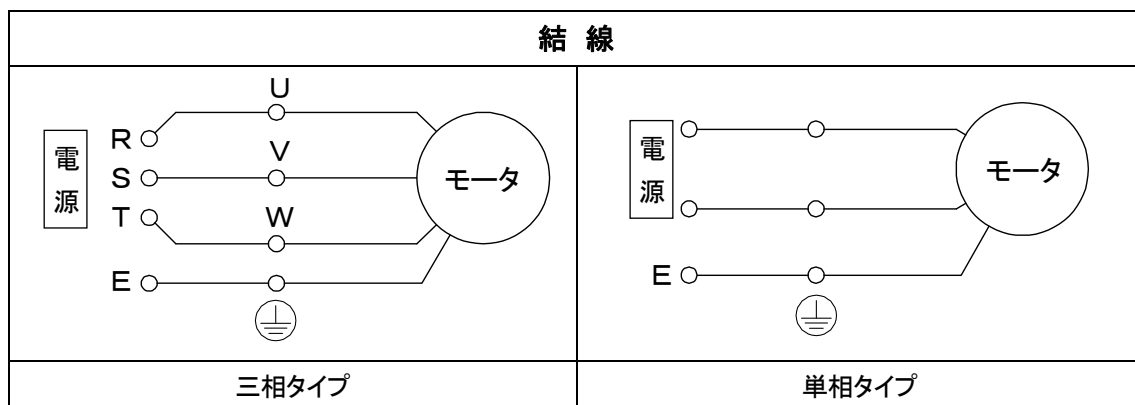
◇三相タイプ

付属のキャプタイヤコード4芯中緑色線を除く3本(緑色線はアース用です)を電源に接続してください。  
 4本のリード線は赤線-U、白線-V、黒線-W、緑線-アースとなっております。

### 9.3.5 結線方法



本機の電源仕様にあった供給電源を使用してください。



### 9.3.6 アースの取り付け



アースの接続を確実にこなってください。

電気設備基準でもアースの取り付けは義務付けられています。

#### ◇単相100Vタイプ

アース端子は、スイッチの側面に設けてありますからアースの接続を確実にこなってください。  
スイッチ側面にはアース線が取り付けられています。

#### ◇単相200V～240Vタイプ

電源キャブタイヤコード3芯中黄緑色線がアース線です。アースの接続を確実にこなってください。

#### ◇三相タイプ

電源キャブタイヤコード4芯中緑色線がアース線です。アースの接続を確実にこなってください。

### 9.3.7 回転方向の確認



#### ◇単相タイプ

一定回転方向ですから、何時でも正常回転します。

#### ◇三相タイプ

キャブタイヤコードのリード線にはU(赤線)、V(白線)、W(黒線)、Ⓧ(緑色)を表記しています。

UVWを正しく結線することで正回転します。



注記: 必ず本機背面側の風胴ケーシングとモータ間の格子穴から見える羽根車の回転方向が矢印の方向と同じであることを確認してください。逆回転のときは、電源コード3線中2線を振り替えて接続し、正回転(矢印の方向)に合わせてください。

結線が終わりましたら電源接続部の処置を確実にこなってください。

## 9.4 使用前の点検










### 9.4.1 使用前の製品の点検

使用する前に、製品やアース、電源線、設置状態などに異常がないか確認してください。

破損、ネジのゆるみ、油漏れなどがないか確かめてください。

構成部品が正しく取り付けられているか確認してください。

## 10. 運転

 警告	
 禁止	工作機械サイドでの被加工物の切削粉や切削油のエアブロー作業以外の目的に使用しないでください。 常温・常圧の一般空気以外の気体を取り扱わないこと。
   	モータ内部に過負荷保護装置のサーマルプロテクターが内蔵されています。(但し、単相100V、単相200V、三相200Vの日本標準仕様のみ内蔵) サーマルプロテクターが動作した場合は、すぐに本機の元電源を切ってください。(保護装置による電源の遮断が望ましいです。) サーマルプロテクターはモータが過負荷運転となった時、モータ内部温度が上昇(約120℃前後)すると、自動的に働いてモータの運転を停止させます。また、停止後モータ内部の温度が低下(約80℃前後)すると、サーマルプロテクターは自動的に復帰(接点が導通)しますので、電源が投入されたままの状態では復帰と同時にモータの運転が再開されます。 サーマルプロテクターは動作後にモータ内部温度の低下(約80℃前後)により自動復帰し運転が自動的に再開される仕様ですので、電源が投入された状態のままですと突然モータの運転が再開され予期せぬ事故の発生原因となるおそれがあり大変危険です。 自動復帰による事故防止の為、必ず本機の元電源を切ってください。 尚、サーマルプロテクターが動作した原因を究明・除去するまでは、運転を再開させないでください。
 禁止	インバーターによる増速・減速運転は、モータが過負荷になることや増速による回転体などの強度面で危険ですから絶対におこなわないでください。

◇運転を始める前に据え付けの各項目が守られているかを再確認してください。

◇前扉が完全に締まっているか調べてください。

締りが不完全な時や開放のままでは吸引力の低下やファンモータの故障にもなりますので必ず確認してください。

### 10.1 設置時の環境を厳守の上、運転してください

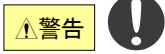


### 10.2 スイッチについて



操作は簡単な押ボタンスイッチです。運転(ON)、停止(OFF)による操作となっています。モータの単相運転(三相タイプ)又は過負荷防止のため、配線用遮断器(電動機用)を取り付けてください。その場合必ず適用電動機(適合電流値)のものを使用してください。また、漏電遮断器なども設置することをお奨めします。

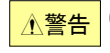
### 10.3 運転の条件



運転は次の条件のもとでおこなってください。

- ◇電源電圧の許容変動範囲は±10%以内としてください。
- ◇周波数範囲は銘板に記入されている定格周波数としてください。
- ◇インバーターによる運転はおこなわないでください。定格周波数による運転で所定の性能が得られるようになっています。増速はモータの過負荷や強度面で危険です。

### 10.4 含塵液体の条件



警告	
<p>⊘ 吸引禁止</p>	<p>火気および爆発性・引火性・可燃性粉塵及び爆発性・引火性・可燃性物質の付着した粉塵・混在した粉塵等は絶対吸引させないでください。</p>
<p>⊘ 吸引禁止</p>	<p>爆発性・引火性・可燃性液体やそれらにより濡れた粉塵、また、それらが混在した粉塵・付着した粉塵等は絶対に吸引させないでください。</p>
<p>△ 共用注意</p> <p>△ 混合注意</p>	<p>混合時危険変化物質の同一機での共用使用禁止。                  取り扱う粉塵や液体のそれぞれが、たとえ安全なものであっても粉塵と粉塵・液体と粉塵・液体と液体とが混合することにより危険な物質に変化する場合があります。混合に伴う物質の変化には特に注意が必要です。お客様の責任においてご確認ください。</p> <p>混合に伴う安全性が確認出来なければ、同一機での共用使用は絶対におこなわないでください。それぞれの粉塵・液体に対する専用化をお願い致します。(目的粉塵や目的液体それぞれの専用機であることを明確表示してください。)</p>
注意	
<p>△ 注意</p>	<p>フィルター仕様については、捕集目的物や作業に対応した使用方法をお守りください。本機はYMSタイプです。                  フィルター仕様が異なりますと、フィルターの目詰まりや回復不能を発生させたり、粉塵の吹き漏れが生じたりする恐れがあります。</p>
<p>△ 注意</p>	<p>粉塵がたとえ安全であっても、非常性の物体が含まれるものを吸引する場合は本機に対する想定外の影響が生じる場合がありますので、お問い合わせください。</p>
<p>● 必ず守る</p>	<p>水のみ吸引・回収を目的とした使用はお避けください。</p>
<p>△ 注意</p>	<p>粉塵が勢いよく飛散する作業の場合は、保護メガネの着用をお願いします。</p>

本機で取り扱う粉塵は、次の条件をお守りいただき、危険な状況を作り出す恐れがある作業はおこなわないでください。また、可燃性雰囲気内での使用禁止。

◇ 本機のフィルター仕様は含塵安全液体液霧用です。「YMSタイプ」(型式中にYMS表示)ですので、ご使用のフィルター仕様に対応した使用方法としてください。

●YMSタイプ(型式中にYMS)

工作機械サイドでの被加工物の切削粉や切削油の除塵エアブロー作業専用。

「YMSタイプ」は濡れた粉塵や断続少量の含塵液体スプレーミストには適しますが、液体そのものや多量の液体スプレーミストには対応出来ません。又、爆発性・引火性・可燃性液体やそれらにより濡れた粉塵、又それらが混在した粉塵・付着した粉塵は絶対に吸引させないでください。

◇ 粘着性および腐蝕性の物質は吸引させないでください。

◇ 火災事故防止のため、火気および爆発性の粉塵・含塵液体液霧は絶対に吸引しないでください。

◇ 下記の内容は事故や故障の原因となりますので、絶対に吸引禁止です。

**火のついたもの:** タバコの吸い殻、マッチなどの火種

**火花を含むもの:** 研削加工時に発生する火花や火の粉を含む粉塵等

**引火性のもの:** ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油等。

引火点120℃以下の油や引火点135℃以下の洗浄液および引火性物質が付着混在した物質等。また同じく発火点の低い油や物質等

**爆発性のもの:** アルミニウム、マグネシウム、チタン、エポキシ樹脂等の爆発性粉塵、爆発性物質および粒径・濃度その他の条件により粉塵爆発を起こす可能性のある粉塵や爆発性液体、液霧および爆発性物質が付着混在した物質等

**可燃性のもの:** 可燃性粉塵や可燃性液体液霧および可燃性物質が付着混在した物質等

**非常性のもの:** 腐蝕性物質、粘着性物質等およびそれらが付着混在する物体等、ならびに非常性のものが多く含まれる気体等

**発熱性のもの:** 発熱性の物質。条件等により発熱するおそれのある物質等

●油・洗浄液の引火点について

切削油が爆発性、可燃性、引火性(引火点 120℃以下の場合)、洗浄液は爆発性、可燃性、引火性(引火点 135℃以下の場合)のものは使用できません。

●可燃性粉塵や可燃性物質が付着した粉塵の吸引はしないでください。不燃性物質が加工等により可燃性に変化している可燃性物質は特に注意が必要です。可燃性粉塵に変化しているかどうかの判断は非常に難しく、お客様の責任において判断願います。また、可燃性粉塵と判明した場合は直ちに本機の使用を停止してください。

●取り扱う粉塵のそれぞれがたとえ安全なものであっても粉塵が混合することにより危険な物質に変化する場合があります。混合に伴う物質の変化には特に注意が必要です。お客様の責任においてご確認願います。粉塵の混合に伴う安全性が確認出来なければ同一機での共用使用は絶対におこなわないでください。それぞれの粉塵に対する専用化をお願い致します。(目的粉塵の専用機であることを明確表示してください。)尚、混合された捕集粉塵の廃棄処理については想定外の諸問題の発生も考えられますのでお客様の責任において判断願います。




●除塵エアブロー作業専用です。液体で濡れた粉塵や含塵液体にそれぞれ使用可能です。濡れた粉塵とは粉塵中に液体そのものが混在する粉塵のことをさします。尚、YMSで想定しております液体とは水溶性油、引火点120℃以上の安全な油、引火点135℃以上の洗浄液等で爆発性・可燃性・引火性等の危険のないものをさします。また、取扱う液体のそれぞれがたとえ安全なものであっても液体が混合することにより危険な物質に変化する場合があります。混合に伴う物質の変化には特に注意が必要です。お客様の責任においてご確認願います。液体の混合に伴う安全性が確認出来なければ、同一機での共用使用は絶対におこなわないでください。それぞれの液体に対する専用化をお願い致します。(目的液体の専用機であることを明確表示してください。)尚、混合された捕集液体の廃液処理については想定外の諸問題の発生も考えられますので、お客様

の責任において判断願います。


- ディスクサンダー等の研磨・研削作業等や火花の出る作業には使用できません。

## 10.5 エアブロー作業について

エアブロー作業を行なう場合は、フード内にある円形マークに向けてエアブローすることをお奨めします。円形マークを目標にエアブローしていただくと効果的に切削油や切削粉などを吸引することができます。

 注意	
 注意 	粉塵が勢いよく飛散する作業の場合は、保護メガネの着用をお願いします。











## 10.6 異常を発見した時

-  警告 直ちに運転を中止して、電源を遮断してください。『13. 異常時の処置』に従った対応をお願いいたします。

## 10.7 サーマルプロテクターが動作した時

-  警告 必ず本機の電源を遮断し、原因を究明してください。

## 11. 保守・点検

 警告	
 <b>必ず守る</b> 	保守・点検作業時には、必ず元電源を遮断して作業をおこなってください。誤って元電源が入らないよう「投入禁止」の札を付ける等、元電源の遮断管理を適切におこなってください。
 <b>必ず守る</b>	粉塵は溜めて置かず早めの処理をしてください。 たとえ不燃性の粉塵であっても粒径・濃度・その他の条件により粉塵の燃焼・爆発の危険性がありますので、すべての粉塵に対して注意を払ってください。
 注意	
 <b>必ず守る</b>	前扉の取り付けが不完全ですと吸塵能力の低下や過負荷によるモータ焼損のおそれがありますので、取り付けは確実にこなってください。
 <b>必ず守る</b>	混合された捕集粉塵の廃棄については想定外の諸問題の発生も考えられますのでお客様の責任において判断願います。
 <b>必ず守る</b>	YMSタイプは火花の発生する作業そのものを禁止していますが、誤って火花等が発生した場合には火災事故防止のため、必ずケーシング本体内部や回収液タンクの粉塵・含液粉塵、周囲に飛散した粉塵・含液粉塵等の確認、点検をおこなってから作業の終了としてください。
 <b>注意</b> 	運転停止後しばらくはファンモータ表面が高温となっている場合がありますので、触れないようご注意ください。

### 11.1 日常の手入れ



#### 11.1.1 フィルターの清掃

ご使用中に吸引力の低下を感じた場合は、フィルターの目詰まりですから、操作スイッチをOFFにし、吸引が完全に停止してから、前扉を開けてブラシ等でフィルターに付着している粉塵の払い落としをおこなってください。

フィルターが濡れて吸引力が落ちている場合は、本機を停止して30分以上休止させてフィルターを回復させてください。

#### 11.1.2 粉塵の処理

ケーシング本体内部に切削粉等の粉塵が捕集されますので、操作スイッチをOFFにし、吸引が完全に停止した状態で前扉を開けてケーシング本体内部の底に溜まった粉塵を集めて付属品のミニシャベルなどを使ってすくい取ってください。

前扉を開ける際には油が滴り落ちることが考えられますので、あらかじめウエス・新聞紙等を床面に用意していただき、前扉をある程度開けた状態にしてから開けることをお奨めします。

粉塵は溜めておかず、早めに処理するようにしてください。

運転再開時には、右側のパッチン錠を完全に掛け、前扉を確実に閉めた状態としてください。




### 11.1.3 捕集液体について

ケーシング本体底板部の回収液タンクに液体が溜まっている場合は本体下部後方のドレンプラグを外し排液してください。(ドレンプラグ対辺12mm)

排液終了後は逆の手順で確実にドレンプラグをねじ込んでください。排液時には床面を汚さないようにご注意ください。薄い受皿・ウエス・新聞紙等があれば便利です。

また、ドレンプラグを外しただけでは、回収液タンクから液体を完全に排液することができません。

完全に排液する場合はドレンプラグ側が下になるように本体を傾けて排液していただくか、ウエス等で吸収させ、拭き取ってください。

 警告	
● <b>必ず守る</b> 	無理に本体を傾けて排液することは危険です。本体を傾けて排液する場合は、転倒など十分に注意して作業をおこなってください。 完全に排液する場合はウエスなどの使用をお奨めします。
 注意	
△ <b>注意</b>	前扉を開けた時に液体が流れ落ちる場合がありますので、ウエス・新聞紙等を床面に用意してください。
△ <b>注意</b>	YMSタイプにおいて本機の腐蝕に十分注意をしてください。 YMSタイプには腐蝕対策を十分施していますが、想定外な影響により腐食が進行してしまう事も考えられます。腐蝕によりケーシング等が弱くなりますと油漏れやエアリー漏れが生じ、過負荷によるモータの焼損等危険な現象も考えられますので、日常において使用前、使用後の本機の点検をお願い致します。
△ <b>注意</b>	混合された捕集液体の廃液処理については想定外の諸問題の発生も考えられますので、お客様の責任において判断願います。
● <b>必ず守る</b>	水のみ吸引・回収を目的とした使用はお避けください。

### 11.1.4 ファン風胴部の排液について

ファン風胴下部にドレンプラグが取り付けられています。(ドレンプラグ対辺9mm)

本機を長時間使用しているとファン風胴内部に液体(水分・油分等)が付着する場合があります。

風胴内に液体が付着した状態で、本機を停止し続けると付着していた液体が風胴下部に溜まる場合があります。

風胴下部に液体が溜まったまま運転を開始しますと排出部より滴が吐き出されるおそれがあります。

通常、風胴内に液体が溜まった場合、本機停止中に回収液タンクへ滴り落ちるようにドレンプラグを緩く締めておりますが(液体が滴り落ちていても故障ではありません。)、溜まった液体がすべて滴り落ちない場合もありますので、開始時に一度または数日に一度はドレンプラグを外してファン風胴内部に液体が溜まっていないかご確認ください。

ドレンプラグを取り付ける際は、手で締める程度で緩く取り付けてください。

### 11.1.5 エアブロー作業台の清掃について

フード部内のエアブロー作業台に溜まった切削粉や粉塵は定期的に清掃して取り除いてください。



## ⚠ 注意

### △ 注意

エアブロー作業台の吸引部などに切削粉や粉塵が溜まると吸引力の低下等が発生し、十分な吸引力を得ることができません。

## 11.2 フィルターの交換



## ⚠ 警告

### ● 必ず守る



フィルター交換時においては、ファンの回転が完全に停止したことを確認してください。また、交換時に誤ってファンを回転させないように作業においては電源の管理に十分注意を払ってください。ファンが回転していると物が吸引されたり、接触したりする事故が発生し危険です。

### 11.2.1 成形カセットフィルター

フィルターが破損したり、長期間の使用で吸引力が清掃後も回復しなくなったりした場合は、次の順序でフィルターの交換をおこなってください。

(成形カセットフィルターはYMS-20JタイプまたはYMS-40Jタイプをご指定の上、販売店よりお取り寄せください。)

#### ● フィルター取り外し方法

- ① 2箇所のパッチン錠を外して前扉を開けてください。
- ② カセットフィルターは正面に1個取り付いています。
- ③ 4箇所のフィルター固定ナット(M5)及び平座金を取り外してください。
- ④ カセットフィルターは手前に引き出すことで取り外すことができます。
- ⑤ 新しいカセットフィルターを取り付けて平座金とフィルター固定ナットでしっかりと固定してください。
- ⑥ カセットフィルターの交換が終了しましたら、前扉を閉めてパッチン錠でしっかりと固定してください。

### 11.2.2 後部フィルター及び後部フィルター取付ネット

ファン排出部に後部フィルターを取り付けてあります。

後部フィルターに粉塵や油分が付着すると性能低下等、その目的を果たさなくなりますので、適宜、後部フィルターの点検・清掃されることをお奨めします。

後部フィルターは再生が可能なフィルターです。再生方法は、中性洗剤による洗浄をしてください。洗浄の際は、もみ洗いや強く絞ることはお避けください。乾燥は、シワを伸ばした状態で自然乾燥させるか、80℃以下で乾燥させてください。

尚、後部フィルターの汚れがひどい場合は交換してください。





また、後部フィルター取付ネットも点検をおこなってください。破損などしている場合は後部フィルター取付ネットを交換してください。

#### ● フィルター取り外し方法

- ① 排出部カバーを固定している蝶ナットを緩めて取り外し、排出部カバーを取り外してください。
- ② 後部フィルターのみを取り出してください。(取付ネットを交換する場合は取り出してください。)
- ③ 後部フィルターの点検・清掃または交換してください。
- ④ 後部フィルターの取り付けは、後部フィルターをロール状に巻きつけて、後部フィルター取付ネット内に差し込んでください。
- ⑤ 後部フィルターが取付ネットに密着するように後部フィルターを広げてください。
- ⑥ 後部フィルターおよび後部フィルター取付ネットがきっちり取り付けられていることを確認してから排出部カバーを取り付け、蝶ナットでしっかりと固定してください。

### 11.3 外装部のお手入れ

本機の外装部が汚れた場合は、水または水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取ってください。

 警告	
 <b>禁止</b> 	<p>本機に直接水等の液体をかけないでください。 感電のおそれがあり危険です。</p>
 注意	
<b>△ 注意</b>	<p>アルコールやベンゼン、シンナー等の溶剤を用いて外装部等を拭いたりしないでください。塗装がはがれたり、変色したり、構成部品を傷めたりするおそれがあります。</p>

### 11.4 定期的な点検




長期間安全に運転できるように定期的に、すくなくとも1年に1度は休止して各部の点検を実施してください。また、運転毎の日常点検として異常音や振動、発熱等の異常の有無を点検してください。

装置本体	本体部の摩耗、腐蝕および破損並びに粉塵等堆積の状態を点検してください。
操作スイッチ	スイッチの破損、欠落および作動不良がないかを点検してください。
シールパッキン	本体およびダクト系配管においてエアリークまたは粉塵漏れの発生がないかを点検してください。
ファンおよび電動機	ファンに異常な振動が発生していないか、あるいはファンの振動が増大していないかを点検してください。また、電動機に異常な発熱がないかを点検してください。異常な振動や発熱が発生している場合の対応は『13. 異常時の処置』にしたがってください。
軸受け	シールド型のためグリースの補給は必要ありませんが、異常音が発生していないかを点検してください。万一、故障を起こしたり長期使用により損傷したりした場合は取り替え修理となります。
フィルター	フィルターの機能を低下させるような目詰まり、破損、劣化、湿り等がないか、また、取り付け状態におけるネジ、パッキン等の破損、欠落の有無を点検してください。

## 12. 保管

### 12.1 保管






 注意	
 禁止	次のような場所には保管しないでください。故障のおそれがあります。 <ul style="list-style-type: none"><li>・本体に著しい振動や衝撃が加わる場所</li><li>・仕様を示された範囲を超える高温多湿な場所</li><li>・結露する場所</li><li>・急激な温度変化のある場所</li><li>・可燃性の溶剤や粉塵等、引火や爆発のおそれのある場所</li><li>・ホコリ・粉塵・煙が多い場所</li><li>・水・油・薬品等がかかる場所</li><li>・強電界・強磁界が発生する場所</li></ul>
 注意	本機を長期間停止させた状態(保管・停止)の場合、その保管環境および停止状況によっては、軸受けグリースの潤滑切れや錆の発生などで、異常音の発生原因になることがまれにあります。 長期間保管後または長期間停止後に本機を運転する際には、一度試し運転を行ない異常音の確認を行なってください。 万一異常音が発生した場合には、お買い上げの販売店または弊社営業所までご連絡ください。

梱包した状態：室内で温度変化が少なく、乾燥した場所で保管してください。

据え付けた状態：水や油、ほこりなどの異物が侵入しないようカバー等で保護してください。

長期保管：長期間保管をする場合に、本機が未開梱の状態や開梱済みの状態、または本機が装置等に据え付けられている状態や本機単体で据え付けられている状態等にかかわらず、保管環境によっては軸受けグリースの潤滑切れや錆の発生で、異常音の発生原因になることがまれにあります。本機が装置等に据え付けられている状態や本機単体で据え付けられている状態で長期間停止させている場合においても同様です。  
長期間保管または長期間停止後に本機を運転する際には、一度試し運転を行ない異常音の確認を行なってください。万一異常音が発生した場合には、お買い上げの販売店または弊社営業所までご連絡ください。

## 13. 異常時の処置

 警告	
● 必ず守る 	異常時には、必ず元電源を遮断してからその原因究明をおこなってください。
⊘ 分解禁止 	異常内容によっては、お客様による対策が不可能な場合がありますので、分解・組立てはおこなわないでください。

### 13.1 異常時の処置



修理の場合はお買い上げの販売店にご相談ください。








※出張修理は致しておりません。弊社工場での修理となります。

異常内容	原因・点検	対策
所定の性能が得られない	逆回転	正回転にする(3線中2線を振り替えて接続する。)※三相仕様のみ
	電源仕様の不一致	定格仕様に合わせる
モータが回転しない	電源の接続不備	正常に配線する
	過負荷保護装置の作動	電源電圧は±10%以内の電源電圧で使用する
		欠相は正常に配線
		空気漏れのないように各々のカバーを完全に締める
モータ焼損	新品と取り替え修理	
異常音および振動がある	羽根車の不釣り合い	新品と取り替え修理
	軸受け	新品と取り替え修理
粉塵が排出される	フィルターの破損、目詰まり	新品と取り替え
	シールパッキンの点検	シール状態の点検または取り替え
	各々のフィルターの取り付け不備	点検後定位置にセットする
清掃しても吸引力が回復しない	フィルターの目詰まり	新品と取り替え
	内蔵ダクト内の粉塵堆積	内蔵ダクト内の清掃

## 14. 撤去及び廃棄

### 14.1 撤去

本機の撤去をおこなう際には、周囲や作業者の安全を十分確保してからおこなってください。

 警告	
● <b>必ず守る</b>  	本機の撤去作業時には、感電事故防止及び誤作動による事故防止のため、必ず元電源を遮断して作業してください。
● <b>必ず守る</b>	本機の撤去作業時には、ケーシング本体内に溜まった粉塵や回収タンク等に溜まった液体などの処理を適切におこなってください。
● <b>必ず守る</b> 	転倒防止のため、フードや本機に乗ったり重量物を載せたりしないでください。
△ <b>警告</b> 	本製品の質量を確認の上、認識してください。 ・撤去、移動の際には指、足や身体のいかなる部分も製品の下には入れないように十分注意を払ってください。 ・撤去、移動の際には転倒や落下等に十分注意を払ってください。 フードに物を載せた状態で移動しないでください。フードから落下するおそれがあります。
 注意	
△ <b>注意</b> 	運転停止後しばらくはファンモータ表面が高温となっている場合がありますので、触れないようご注意ください。

#### 14.1.1 結線またはその他の電源に関する撤去作業

 **警告**

元電源を遮断して作業してください。  
誤って、元電源が入らないよう元電源の遮断管理を適切に行ってください。

#### 14.1.2 本機に配管・電源線等が取り付けられていますと移動の際に思わぬ力が加わり、怪我や事故につながる恐れがありますので取り外されているのを確認の上、作業を行ってください。

#### 14.1.3 製品の重量を把握してください

 **警告**

設置・移動の際には、指、足や身体のいかなる部分も製品の下に入れしないでください。

### 14.2 廃棄

本機を廃棄する場合には、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。



## 15. 交換部品

---

### 15.1 交換部品

お客様で交換可能な消耗部品は次の部品となります。  
型式とロットナンバーをご指定の上、販売店よりお取り寄せください。

- 成形カセットフィルター 品番(7)
- 後部フィルター 品番(9)
- 後部フィルター取付ネット 品番(10)

交換の手順は、本書の「11. 保守・点検」の事項をご参照ください。

## 16. 保証規定について

---

### 保証規定

下記に明示した期間、条件のもとに於いて無償修理を規定するものです。

※出張修理は致しておりません。弊社工場での修理となります。

#### 保証期間

お買上げ日より1ヶ年とします。

#### 保証範囲

- 1) 保証期間内に本取扱説明書や注意・警告ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態において、本機を構成する部品に材料上、又は、製造上に起因する不具合が現れ、弊社がそれを認めた場合は、無償で当該部品の交換又は修理を致します。  
尚、故障に伴う機械の休止補償等、他の二次的損失の補償は含みません。
- 2) 保証期間内でも、下記事項に該当する場合は保証致しません。  
(イ)弊社に連絡なしに修理又は改造された場合、及びその修理又は改造が原因で誘発した故障。  
(ロ)弊社の「取扱説明書」に示す正しい使用又は保守又は整備をおこなわなかったことが原因で誘発した故障。  
(ハ)天災・過失・事故・故意あるいは第三者の加害による損傷及びそれが原因と認められる故障。  
(ニ)取扱説明書に記載した条件や、別途取り交わした条件以外で使用した場合。
- 3) 本保証規定は日本国内においてのみ有効です。
- 4) 正規代理店が販売したもの、もしくは正規販売ルートのもの以外は保証対象外になります。  
また、アフターフォローもできません。
- 5) 保証期間を過ぎた後は、修理可能な場合に有償でお引き受けいたします。

#### 特記事項

保証期間内外を問わず、又、使用国を問わず作業中に発生する火花等や被削物等に起因する事故・火災等や弊社の取扱説明書に示す正しい使用等を行わなかったことに起因する事故・火災等は保証対象外です。又、それに伴う二次的損失に対しても補償外となります。

## PRODUCTS

---

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 電動送風機■          | ■集塵装置付両頭グラインダ  |
| カートリッジフィルター集塵機■ | ■集塵装置付バフグラインダ  |
| コンピュータ制御集塵機■    | ■集塵装置付ベルトグラインダ |
| 集塵装置付作業台■       | ■両頭グラインダ       |
| エアブロー専用集塵作業台■   | ■バフグラインダ       |
| 溶接ヒュームコレクター■    | ■ベルトグラインダ      |



YODOGAWA

生産性を高める快適環境づくり

---

# 淀川電機製作所

---

- |        |   |
|--------|---|
| 大阪営業所  | 〒561-0891 大阪府豊中市走井2丁目1番8号<br>TEL06(6853)2621(代)●FAX06(6853)3155   |
| 東京営業所  | 〒168-0073 東京都杉並区下高井戸4丁目3-1<br>TEL03(3303)0700(代)●FAX03(3303)0824  |
| 名古屋営業所 | 〒466-0042 名古屋市昭和区広池町65番地1<br>TEL052(852)8167(代)●FAX052(852)8169   |
| 福岡営業所  | 〒811-1253 福岡県筑紫郡那珂川町仲2-1-16<br>TEL092(953)0661(代)●FAX092(953)1806 |
| 本社・工場  | 〒561-0891 大阪府豊中市走井2丁目1番8号<br>TEL06(6853)2621(代)●FAX06(6853)3155   |

URL: <http://www.yodogawadenki.jp>